

我孫子市中学校部活動地域移行に向けて
～吹奏楽部の活動について紹介～

1 我孫子市の現状

市内中学校 6 校すべてにおいて吹奏楽部が活動しています。同様に 13 校あるすべての小学校においても各学校の実態に応じて活動しています。

令和 2 年度からは新型コロナウイルス感染症防止対策の関係で思うような活動が実施できませんでしたが、感染対策に配慮しながら昨年度より徐々に以前の活動内容に戻りつつあります。また、第 5 類に移行した本年度からはコンクールも有観客開催となり、意欲的に活動が行えるようになってきました。

吹奏楽の楽器は音を出し吹きこなすために、演奏技術を習得し継続的な練習と時間が必要なものが多くあります。そこで、子どもたちの演奏技術の向上と教員の指導力向上のため市内 19 校で昭和 50 年代より我孫子管楽研究会を組織しています。この研究会が講習会を実施し、令和元年度以前は会場に参集して各楽器の専門家から子どもたちが実際に指導を受けていました。

2 吹奏楽部の活動について

現在、部活動ガイドラインに従って平日及び休日に活動を実施しています。

(1) 主な活動内容

①基礎練習（体力づくり等含む）

- ・腹筋・背筋、腹式呼吸の練習など
- ・ロングトーン練習（音色や音程が一定になるよう音を長く吹く）
- ・教則本等を活用して演奏技術の習得・向上するための練習

②演奏する曲の練習

- ・担当する楽器・パートの楽譜の旋律が演奏できるように譜読み練習（各自で練習したり楽器・パートでグループ練習したりする）
- ・木管楽器と金管楽器が別々に集まって練習
- ・主な旋律を担当する楽器と和音や低音を担当する楽器に分かれての練習など

③アンサンブル・合奏練習

- ・「②」で練習した成果や課題の確認

例）木管楽器（フルート等）と金管楽器（トランペット等）別に
主な旋律を担当する楽器と和音や低音を担当する楽器別に

- ・すべての楽器が集まって合奏練習

（曲の完成に向け練習を行い、成果や課題を確認し、「②」の練習時間にさらなる向上を目指して改善していく）

※ 「③アンサンブル・合奏練習」については、比較的活動時間が確保できる活動日に設定されることが多く、限られた時間での活動日は「①・②」の活動内容が中心となることがあります。

（２）講師（外部指導者）による指導

子どもたちの演奏技術の向上や顧問の指導力向上のため各学校の実情や判断に講師を招聘し専門家による指導を受ける場合もあります。

①演奏技術の習得・向上のために

- ・ 必要な楽器（初心者が多い、曲の難易度など）の専門家を招聘
（子ども一人一人の実態に応じて指導いただく）

②曲の完成へ向け指導・助言をいただくために

- ・ 合奏練習が中心
（より豊かな音楽表現や目指す演奏の実現に向け指導いただく）

※ 必要となるすべての楽器の専門家を単独１校で招聘することは難しいこともあり、我孫子管楽研究会の講習会がその役目を担っています。

（３）活動費用（予算）

①収入

- ・ 学校からの部活動運営費
- ・ 部費（保護者から徴収、学校により金額判断）

②主な支出

- ・ 楽器の管理（維持に必要な消耗品、修理等）
- ・ 楽譜の購入
- ・ 楽器運搬費（コンクール参加等）
- ・ 講師謝金

※ 楽器の購入については、市教委の備品購入予算から優先順位をつけて年度ごとに行っています。また、市の教育振興基金から購入していただく年度もあります。個人所有の楽器を使用している子どももいます。

※ コンクール参加等の交通費については、けやき号を含め主に公費です。

3 我孫子管楽研究会の講習会について

吹奏楽の楽器には、フルートなどの木管楽器、トランペットなどの金管楽器、コントラバス、打楽器各種と多様な楽器があります。そのため、多種多様な楽器すべてを各学校の顧問が指導することにはなかなか難しいものがあります。

そこで、昭和50年代より、市内19校で我孫子管楽研究会を組織して各楽器の講習会を実施してきました。

講習会は、市教委に協力いただきアビスタ、コホミンなどの公共施設を会場として、少人数によるグループで各楽器専門の講師より指導を受けました。以前は、小中学校を会場としていましたが、学校施設の管理負担軽減や地域移行の先駆けとして公共施設を会場にするとともに、受付などの運営を我孫子吹奏楽団の団員の方にご協力いただき実施しました。

子どもたちの会場までの移動やチューバやコントラバスの大型楽器の運搬を含め、保護者の皆様にご協力いただき実施できました。

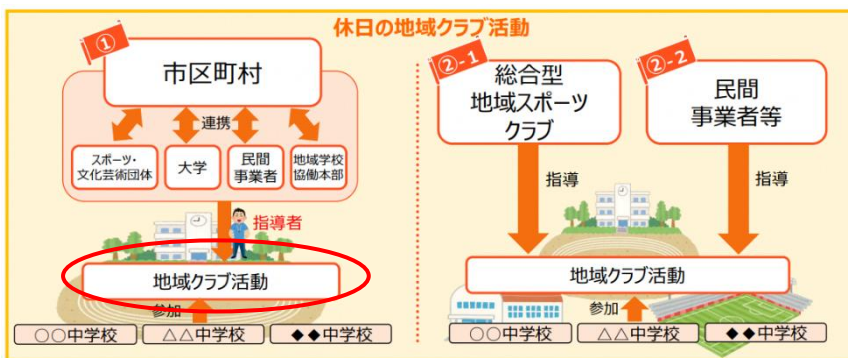
令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症防止対策により各学校で専門家から指導を必要とする楽器について実施しています。

※実施時期・第1学期に各楽器の講習会、第3学期に必要な楽器の講習会

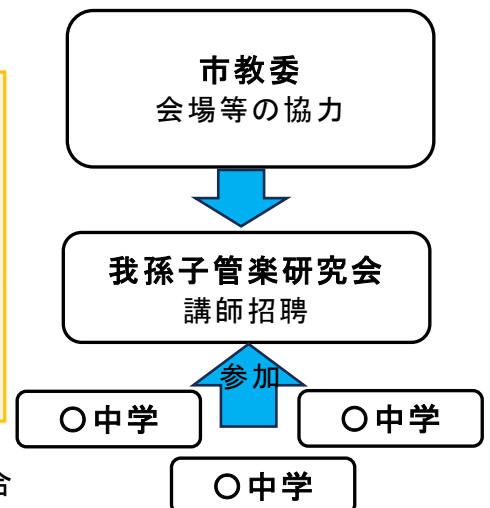
※講師・・・音楽大学等の卒業者（我孫子市出身者も含めて依頼）

4 スポーツ庁・文化庁が示したモデルに照らすと

○我孫子管楽研究会の講習会に近いスタイル



・我孫子管楽研究会を地域クラブ活動とした場合



○各学校が講師を招聘した活動に近いスタイル

・招聘した講師を部活動指導員とした場合

